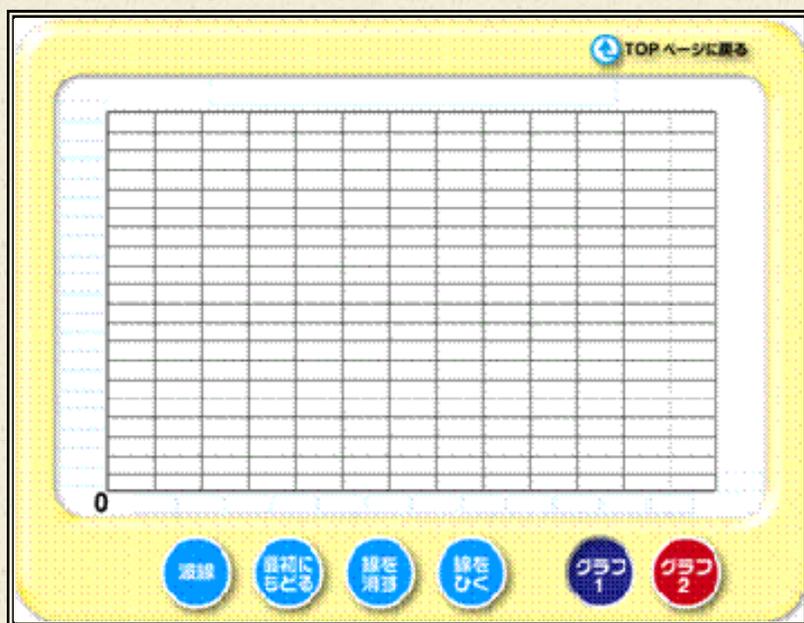


小学校

s 4-14

4 学年

折れ線グラフ



【ねらい】

折れ線グラフのよみ方やかき方について理解する。

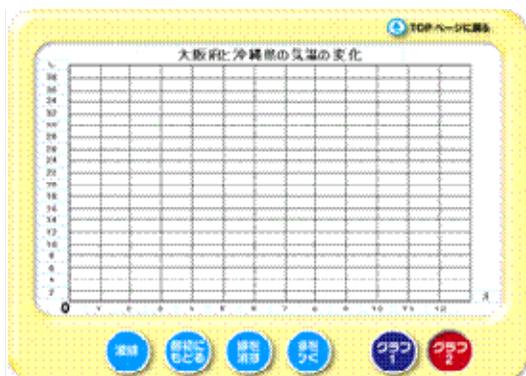
【特徴】

- ◇ 縦軸、横軸の目盛りや項目はテキストとして入力できます。
- ◇ マーカーは縦軸のどの位置にでも打てます。
- ◇ 2本の折れ線で2種類の変化を表すことができます。省略記号が使えます。

【関連する単元】

- ◇ 中学1年「比例・反比例(座標)」

【活用場面】 算数的活動の後の検証、知識・技能の定着



目盛りのとり方、グラフに必要な表記の指導に有効です

表題、目盛りや横軸の項目、各軸の単位等は、テキストで自由に入力できるので、グラフに必要な表記や目盛りのとり方を理解させるのに有効です。

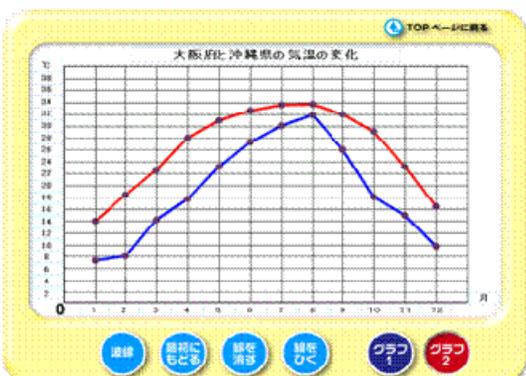
- ◇ 授業であつかったデータの表題をテキストで入力します。
- ◇ 横軸の項目(多くは時間的要素)をテキストで入力します。
- ◇ 児童が自分で考えた縦軸の目盛りを発表させ、テキストで入力します。数値が全て表現でき、グラフを無駄なく使える目盛りのとり方を考えさせます。



折れ線グラフのマーカーの打ち方の指導に有効です

マーカーは、縦軸・横軸の交点に限らず、縦軸のどの位置にでもとることができ、また、移動も可能になっているので、マーカーの打ち方の指導に有効です。

- ◇ 児童に、各横軸項目に対する縦軸の値をマーカーで打たせます。
- ◇ 児童の発表を受け、マーカーを打っていきます。
- ◇ マーカーの打ち方が正しいかどうか話し合わせます。
- ◇ 必要に応じ、マーカーの位置を修正し、座標の位置の表し方の基礎を指導します。



変化の向きや大きさ、2つのデータの比較に有効です

「線をひく」をクリックすると、マーカーが結ばれ変化が折れ線で示されます。変化の向きや大きさのよみ取りに有効です。

- ◇ 「線をひく」をクリックし、マーカーを結びます。
- ◇ マーカーだけや棒グラフと違い、変化の様子が分かりやすいことを理解させます。
- ◇ 変化の向き(増加・減少)や大きさをよみ取らせます。
- ◇ 2つのデータも表示できるので、データの比較もさせることができます。